

第2章

スマートウェルネスみしまの基本方針

1 「スマートウェルネスみしま」の基本的考え方

健やかで幸せに暮らせるまちを目指す「スマートウェルネスみしま」の基本的考え方は、次のとおりです。

～“健幸”都市づくりのために～

少子高齢化など様々な課題に対応し、市民の健康づくりを進めていくためには、市民一人ひとりの健康づくりに関する考え方と行動のあり方を変えると同時に、社会環境の改善を進めることを通して、市民生活と社会環境の両者の質を向上させていくことが大切です。

このため、直接的な市民の健康づくりとしての生活習慣病予防や介護予防に着実に取り組んでいくことに加え、より広い視野に立ち、あらゆる世代の健やかな心身と暮らしを支える市民の生活環境、社会環境を創っていく必要性が高まっています。

今後、三島市では、スマートウェルネスみしまの推進を通じて、保健・医療分野から個人の健康増進を図ることに加え、生活環境や地域社会、学校や企業など、あらゆる分野を視野に入れた取り組みにより、都市そのものを健康にし、市民一人ひとりが「健やかで幸せ」と感じられる“健幸”都市を目指します。

① 多様な分野に“健幸”の視点を取り込む

市民生活が多様な行動、活動によって構成されていることを踏まえると、あらゆる分野で“健幸づくり”に配慮していくことが必要です。

スマートウェルネスみしまの取り組みは、「健康づくり」の分野だけに留まらず、誰もが地域社会に参加するための「いきがい・きずなづくり」の分野や、賑わいや活力を創出するための「地域活性化・産業振興」の分野を統合して、必要な施策の推進を図ります。

② 市民、NPO、事業者、行政が協働でスマートウェルネスみしまを推進する

効果的かつ効率的にスマートウェルネスみしまの取り組みを進めて行くためには、市民、NPO、事業者、行政が協働で取り組むことが不可欠です。

市民、NPO、事業者がスマートウェルネスみしまの主旨と理念に理解を深め、積極的に参画するとともに、主体的に行動できるよう、行政は地域や各種団体、企業、周辺自治体などと連携し、スマートウェルネスみしまの推進に必要な環境づくりや仕組みづくりを進めます。

③ 長期的かつ継続的にスマートウェルネスみしまに取り組む

スマートウェルネスみしまが目指す“健幸”都市は、一朝一夕で創りあげることができるものではなく、長い時間が必要であり、継続的に進める必要があります。

そのために、本市の将来像や市域を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、長期的な視点で必要な施策の検討を進め、さらにその効果や達成度を検証しつつ、必要に応じて施策の見直しを行うなど、PDCAサイクルに基づいた取り組みを進めます。



2 「スマートウェルネスみしま」の将来像と取り組み方針

1) 将来像

「スマートウェルネスみしま」の将来像を次のように掲げます。

～健やかで幸せな“健幸”都市みしま～

健康で幸せな人々が暮らす 活気に満ち溢れた都市を
市民総参加でつくる

2) 取り組み方針

本市の背景及びスマートウェルネスみしまに係る課題を踏まえつつ、将来像を達成するための具体的な取り組み方針を整理すると、3つの領域と総合的な取り組みに大別できます。

- ① 健康づくり
… 市民が健康に生活していくための核となる取り組み
- ② いきがい・きずなづくり
… 人とふれあい、健康で幸せに暮らしていくための大切な取り組み
- ③ 地域活性化・産業振興
… 健康づくりやいきがいきずなづくりを守り支えるための基盤づくり
- ④ 総合
… ①～③全てに係る横断的かつ総合的な取り組み

これらの取り組み方針は、健康づくりが核となり、さらにいきがい・きずなづくりが幸せを足し合わせ、地域活性化・産業振興がそれらを守るように取り囲む、“たまご”のような構造の関係性がイメージできます。

このようなことから、取り組み方針の全体を“健幸都市みしまのたまご”と呼び、このたまごを育て、“スマートウェルネスみしま”を産みだすイメージで、取り組みを実践していきます。



① 健康づくり

－市民総参加で健康寿命を延ばす健康づくり－

“健幸”都市の創造のためには、健康に関心のある層や、健康面に課題のある市民への対応に留まらず、健康づくりに関心の低い層も引き込むような環境づくりが必要です。

全ての市民を対象とした生活習慣病予防、介護予防をはじめとするあらゆる領域における健康づくり施策に加え、特に食と運動・スポーツによる取り組みを進めていきます。

こうした取り組みによる“治療中心から予防重視への転換”を通じて、市民の健康寿命・65歳からの平均自立期間（お達者度）の延伸を目指し、ひいては社会保障関係費の増加の抑制を目指していきます。

<具体的な取り組み方針>

■みんなで健康づくり

- ・市民の健康維持増進のために、市民の健康状態や健康維持に係る課題を整理・分析し、科学的根拠をふまえた新たな健康施策を推進します。

■ウォーキング・スポーツの環境づくり

- ・誰もが自発的に、かつ楽しみながらウォーキングをはじめとする運動・スポーツを実践できる環境整備や仕組みづくりを推進します。

<将来目標>

65歳からの平均自立期間（お達者度）の延伸

現状値 (平成21年数値反映)	平成30年公表 (平成27年数値反映)	平成33年公表 (平成30年数値反映)	平成36年公表 (平成33年数値反映)
男性：17.55年 女性：20.56年	男性：18.1年 女性：20.9年	男性：18.5年 女性：21.3年	男性：19.1年 女性：21.7年

*65歳からの平均自立期間（お達者度）についてはP7参照

② いきがい・きずなづくり

－生涯を通じて多様な社会参加が可能なまちづくり－

全ての市民が、心身ともに健康でいきがいあふれる生活を送るためには、積極的に社会参加ができる環境の構築が重要となります。地域社会や人との交流の場と機会を創出することにより、いきがいあふれる豊かなこころの育成に努めます。また、歩いて暮らせるまちづくりを実現する、歩きやすい道づくり、公共交通の充実などにより、健康づくりを推進します。このように、社会環境の変革を通じた“健康づくりと地域づくりの好循環”を実現します。

<具体的な取り組み方針>

■いきがい・きずなづくり

- ・誰もが容易に地域社会の中で活動し、その活動を通じて人と人のきずなを深めることができる環境整備や仕組みづくりを進めます。

■歩いて暮らせるまちづくり

- ・誰もが安全で楽しく生活できるよう、基盤整備や公共交通の充実を図ります。

<将来目標>

幸福感 10 段階で 7 以上の割合（市民意識調査）

平成 24 年度(現状)	平成 27 年度	平成 30 年度	平成 33 年度
58.1%	61.06%	64.02%	67.0%

*幸福感についてはP10参照

③ 地域活性化・産業振興

－持続可能な“健幸”都市づくり－

“健幸”都市づくりは、長期的な視点で構築する必要があるとともに、“健幸”都市自体が、持続的に維持、発展できるものである必要があります。そのためには、本市の中心市街地活性化や商店街の振興、さらに周辺市町と連携した観光振興など、地域の活性化方策を推進することが求められます。また、医療健康産業を中心とした産業振興を進め、地域経済の活性化を図ることも必要です。

これらの施策を通じて、地域社会全体が活性化することにより好循環を生み出し持続可能な“健幸”都市づくりを目指します。

<具体的な取り組み方針>

■活力・にぎわいづくり

- ・活力とにぎわいある地域づくりのために、NPO、事業者等との連携により観光振興のための施策やにぎわい創出に係る施策を推進します。

■持続可能なまちづくり

- ・医療産業の活性化や農林業の振興等、「スマートウェルネスみしま」にふさわしい産業振興による地域経済の活性化のための施策を推進します。

<将来目標>

成長力・民力度全国都市ランキング（東洋経済 都市データパック）

	平成 24 年公表	平成 27 年公表	平成 30 年公表	平成 33 年公表
成長力	403 位	350 位	300 位	250 位
民力度	239 位	200 位	170 位	150 位

※対象 全国 784 市（783 市＋東京区部全体 平成 24 年版ランキング時）

- 成長力 11 指標を原則 5 年前と比較し増減率をもとに都市の“伸び”を指数化
 ①人口 ②世帯数 ③事業所数 ④従業者数 ⑤製造品出荷額等
 ⑥卸売業年間販売額 ⑦小売業年間販売額 ⑧新設住宅着工床面積
 ⑨乗用車＋軽乗用車保有台数 ⑩課税対象所得額 ⑪地方税収入額
- 民力度 人口・世帯当たりの 7 指標をもとに都市の“厚み”を指数化
 ①事業所数／人口 ②製造品出荷額等／人口 ③卸売業年間販売額／人口
 ④小売業年間販売額／世帯 ⑤新設住宅着工戸数／世帯
 ⑥課税対象所得額／世帯 ⑦地方税収入額／人口

3 「スマートウェルネスみしま」の施策の体系

「スマートウェルネスみしま」の将来像を達成するために、取り組み方針に基づき、多様な施策を進めていきます。

これらの施策を取り組み方針に基づき、次の4つに大分類します。

《取り組み方針に基づく4つの柱》

- ① 総合的な取り組み
- ② 市民総参加で健康寿命を延ばす健康づくりの取り組み
- ③ 生涯を通じて多様な社会参加が可能なまちづくりの取り組み
- ④ 持続可能な“健幸”都市づくりの取り組み

4つの柱毎の施策の体系は次のとおりです。

※網掛けの事業は「コアプロジェクト」として位置づけ、次章で詳細を紹介しています。
番号はコアプロジェクトの番号になります。

① 総合的な取り組み

区分	分野	主な取り組み	具体的取り組み
共通	共通	ポイント制度	健幸マイレージの実施(No.1)
		ソフト開発	健幸まち歩きアプリケーションの開発(No.2)
		事業提案コンペ	協働のまちづくり事業提案コンペの実施(No.3)

② 市民総参加で健康寿命を延ばす健康づくりの取り組み

区分	分野	主な取り組み	具体的取り組み	
科学的根拠に基づく健康づくり施策の推進	市民の健康状態・健康課題の分析と新たな健康施策の実施		医療費等の分析による市民の健康課題の把握と施策への反映(No.4)	
			個別健康支援プログラムの実施(No.5)	
予防を重視した健康づくり	母子の健康づくり		妊婦健診・乳幼児健診の実施	
			各種予防接種の実施	
			赤ちゃん訪問・家庭訪問の実施	
			各種健康教育・相談の実施	
	生活習慣病予防	食育の推進		各種食育講座・教室の開催
				各種食育講演会・イベントの開催
				三島市民家族団らんの日の実施
				ヘルシーメニュー普及・健幸づくり推進店・食育認定店の拡大
				新たな大人の食育事業の推進(No.9)
				運動・スポーツの機会の充実
運動・スポーツの機会の充実			スポーツスタート事業の実施	
			スポーツ団体支援	
			総合型地域スポーツクラブの充実	
			学校体育施設開放の実施	

区分	分野	主な取り組み	具体的取り組み	
予防を重視した健康づくり	生活習慣病予防	生涯スポーツの場の充実	総合運動公園の整備検討 長伏グラウンドの整備 健康器具の設置(北上・中郷文化プラザ芝生広場)	
		ウォーキングの普及啓発	モデルコースマップ作成・配布 教室・サポーター養成講座の開催 各種ウォーキング大会の実施 歩幅目安・スポーツ記録のペイントの実施(No.11) 他イベント等と連携したウォーキングイベントの開催(No.12)	
		各種健診・予防接種	特定健診・健康診査の実施 人間ドックの実施 各種がん検診の実施 歯周病検診の実施 集客施設等での健康チェックの実施(No.8) 各種予防接種の実施	
		健康教育・相談	各種健康講座・教室の開催 各種健康相談会の開催	
		健康づくりイベント	健康づくりイベントの開催(No.7)	
		協働による健康づくり	保健委員会活動支援 「けんこうたい」活動支援 各種団体・グループ活動支援	
		介護予防	介護予防普及啓発の実施 特定高齢者介護予防の実施 介護予防事業マップ作成 認知症予防の実施 各種介護予防講座・相談会の開催	
			情報発信	健康づくりコーナーの充実 スマートウェルネスみしまポータルサイト開設 健康づくり情報の一元化(No.6) ウォーキング情報の発信(No.10)

③ 生涯を通じて多様な社会参加が可能なまちづくりの取り組み

区分	分野	主な取り組み	具体的取り組み	
いきがい・きずなづくり	社会参加	いきがいづくり・生涯学習	団体・サークル支援 いきいきカレッジの実施 生きがいデイ教室の実施 公民館活動(各種教室・講座) 中央婦人学級の実施 みしま教養セミナーの実施 ハロー教授バンクの充実 老人福祉センター各事業の実施 寿大学の実施 女性まちづくり講座の実施 高齢者・団塊世代のいきがいの創出(No.16)	
			イベント開催	いきがい・きずなフェスティバルの実施(No.13)
			情報受発信	いきがい・きずなづくりの情報一元化(No.14)
			ボランティア活動の支援	市民活動センター各事業の実施 市民活動センター各事業の実施 ボランティア連絡協議会の開催
				就労支援

区分	分野	主な取り組み	具体的取り組み				
いきがい・きずなづくり	地域交流	協働による地域づくり・きずなづくり	地域づくり市民会議の開催 子どもは地域の宝事業の実施 市民ポータルサイト・地域SNSの運営 エコリーダー活動会議の開催 ストップ温暖化推進協議会の開催 地域包括支援センター各事業の実施 地域安心サポーター養成講座の実施 認知症サポーター養成講座の実施 民生委員地域見守り活動の実施				
		シニア世代の交流促進	老人クラブ等の活動支援 街中ほっとサロンの運営				
	いきがい・きずなづくり支援		いきがい・きずなづくりの相談窓口の開設 (No.15)				
歩いて暮らせるまちづくり	歩きやすいまちづくり	歩行者優先のまちづくり	道路構造条例等の制定 歩道等のユニバーサルデザイン化 電線類地中化(三島停車場線)の推進 案内サイン等の整備 安全・安心な歩道整備 (No.18)				
			歩いて楽しいまちづくり	ガーデンシティみしまプロジェクト	大通り花飾りの実施 美しま花緑おもてなし(商店街)事業の実施 公共花壇・地域花壇支援 ゴミ拾いツアーの実施 せせらぎ回遊ルートの活用		
					エコガーデンプロジェクト	緑のカーテンづくりの推進 まちなかクールスポットマップの作成・活用	
						商店街景観整備	芝本町商店街ファサード整備
						公園・緑地整備	三島駅北口ポケットパーク整備 白滝公園整備
	公共交通網の充実	コミュニティバス等の充実	公衆トイレ環境の整備 (No.19) ウォーキング案内サイン整備 (No.20)				
			公共交通の利用促進	自主運行バスの運営(きたうえ号・ふれあい号・玉沢線) 100円バス(せせらぎ号・なかざと号)の支援 高齢者バス等利用助成 高齢者運転免許返納支援 公共交通の利便性向上・利用拡大策の検討 (No.21)			

④ 持続可能な“健幸”都市づくりの取り組み

区分	分野	主な取り組み	具体的取り組み	
地域活性化	にぎわい創出・観光振興	中心市街地活性化・商店街振興	空き店舗対策事業費補助 商店街イベント振興事業補助 味しま食べ歩き推進事業 せせらぎ一服処の活用 地産地消・安全安心な食によるにぎわいづくり (No.22)	
			観光戦略	せせらぎ・湧水の活用 富士・箱根・伊豆との広域連携の推進 スポーツツーリズムの推進 (No.23)
				三島の食による集客拡大
		伊豆半島ジオパークの活用		
		観光振興	自然資産の活用	せせらぎ・湧水の活用 富士山の世界文化遺産登録の推進と活用

区分	分野	主な取り組み	具体的取り組み
地域活性化	観光振興	歴史・文化資産の活用	向山古墳群公園整備 三嶋大社・楽寿園等まちなか資産の活用 箱根西麓地域資産の活用
		新たな観光資源との連携	伊豆フルーツパーク、箱根西麓・三島大吊橋の活用
産業振興	医療健康産業の振興	医療健康産業の集積(育成・誘致)	医療・健康関連企業調査 企業立地事業費補助 医療健康ビジネスの連携・融合(No.25)
		ファルマバレープロジェクトとの連携	ファルマバレー関連事業所等家賃助成 医看工連携ミシマの推進
		内陸フロンティア構想との連携	東駿河湾環状道路沿線への企業立地促進(No.27)
		産業支援の拠点整備	産業支援拠点の整備(No.24)
		地場産品を活用した産業振興	市民農園
	地産地消	地域農政地産池消推進事業費補助	
地場産品特産化	箱根西麓三島野菜のブランド化		
農商工連携・6次産業化	6次産業化創出事業費補助 農商工連携による地場産品の6次産業化(No.26)		

